

広報

# さざ

昭和63年  
11月(第157号)



## ふれあい農園でも 秋のとり入れ

ここ、ふれあい農園でも、秋のとり入れが行なわれています。  
文部省、佐々町教育委員会指定の町立口石小学校では、全校生徒が一学期に植え付けた「さつまいも」の収穫で、勤労生産学習を経験しています。

### 町の総人口

【10月1日現在】

総人口	12,279人
男	5,841人
女	6,438人
世帯数	3,718世帯
出生	13人
死亡	10人
転入	49人
転出	37人



# 行政をめざして (町政懇談会)



## 今何をしているのか

議会では、委員会で、昭和六十二年四月から昭和六十三年三月までの収入がどのよう

に使われたか、審議されています。

町では、住民の方の意見、要望を聞き、知恵を借り行政に反映させるため各町内会ごとに懇談会を開いています。

九月二十一日、古川町内会を初めとして、午後七時から町内会の都合のよい日を選んでいただき、地元の公民館で町政懇談会が開かれています。

町からは、清原町長以下、三役、担当課長が出席しています。

まず、財政担当課長(総務課長)から昭和六十二年年度の決算について概略説明があげられています。(七つの会計別に分れている。)

- 一、一般会計
  - 二、国保会計(国民健康保険)
  - 三、診療所会計(診療所の運営)
  - 四、老人保健会計(老人医療)
  - 五、宅地造成会計(さざん花町内会内の宅地の分譲)
  - 六、工場団地会計(石の西九州ソウイング建設用地)
  - 七、水道事業会計
- 次に、清原町長が、現在、努力していること、また今後進めていく方針について話をしています。その内容は

**水利権の拡大について**

佐々町は、一日、二四〇〇トンの水利権が許可されています。が、給水人口の増加で夏場は、一日、約四、〇〇〇トン、平均すると三、五〇〇トンの水が必要です。

これから、住民生活の環境整備の下水道計画、働く場所としての企業誘致、また、生活上の文化向上を考えると、



どうしても、七、〇〇〇トン以上の水利権を確保しなければなりません。

しかし、現状は、河川整備、道路の整備、減反で田を利用しない、森林の開発等で渇水期にはなくなる。そこで、緊急的に、どうすれば良いのか。

水利権を確保しているのは、東部土地改良区が二三、二〇〇トン、九電相ノ浦発電所が一、〇〇〇トン、佐世保市が

水不足のため関係町にお願いしている五、〇〇〇トン、それに佐々田原に一七、〇〇〇トンある。この水利権者の間で何とか調整して、七、〇〇〇トンの水利権の確保をとお願

いしているところです。

長期的には、ダムの建設を考えています。

小浦干拓地区について  
広大な土地をいかに利用、活用していくか、町の諮問機

関の産業振興会、議会の企業誘致特別委員会と検討をしています。が、六十三年度中には方向をきめていきたい。

例えば、

雇用の拡大として企業誘致住宅の建設

南部運動広場 など

企業から話があっているものは、ゴルフ場へ夜間にもできるもの。長期滞在型の保養地などきております。

皆さんのお知恵をお貸しいただきたい。

まずは、そこに通じる道路が狭いので、その道路の整備を。

**道路の整備について**

干拓地から国道へつなぐ道路を計画、国、県にお願いしています。

**下水道の問題**

環境を守るため下水道を、国の補助をうけて、まず、密集地の中央地区、小浦地区、松瀬地区、市瀬地区をと計画しています。

しかし、個人負担が一戸当たり四〇万円から七〇万円(各戸から本質の下水道管までの負担分)かかる見通しなので、町で低利の貸し付け等の対応を考えなければならぬと思っております。

**県立療養所跡地の問題**



# 対話の



県から無償で払い下げをうけたもの、福祉、医療の面で活用をしていくと言うことでありましたので、その方向で検討をしています。

老人保健施設をと考えています。

このように、各町内会に係の深いことを主に、十一月まで行なわれます。

どうしても町内会出席できない方は、毎月第一日曜日は、「町長対話の日」をお気軽にご利用ください。

町民の皆さんからの意見、要望は、次のようなことがあっています。

- 一、町道側溝の整備
  - 一、町道の補修（雪ですべる）
  - 一、横断歩道の設置を。
  - 一、歩道に水溜りがたまって困る。
  - 一、空カンの散乱で今後ごみ問題を解決してもらいたい。
  - 一、火葬場は今後どうなるのか
  - 一、資料館の資料の保存について
  - 一、共同募金の割当制はやめてもらいたい。
  - 一、干拓地に運動公園を
  - 一、老人の就労の機会を与えてもらいたい。
  - 一、農道の整備をお願いしたい。
  - 一、牟田原高原の観光化を
  - 一、男子雇用型の企業誘致を
  - 一、ジョギングコースの整備
  - 一、皿山公園で梅林では：検討を、また進入路が分かり難い。
  - 一、北部地区の開発を
  - 一、母子家庭で家賃の高い借家困っている人たちの住宅政策を
  - 一、悪臭がする対策を
- など
- たくさんの方ができています。各担当課での問題が解決するようお願いしたいものです。

## 民吉のふるさと

### 瀬戸をたずねて

佐々町商工会青年部  
広報振興部長  
松本英雄

「町おこし」で始めた加藤民吉をモデルにした佐々皿山創作劇「皿山炎上」の上演をきっかけに、加藤民吉とは、佐々皿山とは…と、ついに民吉のふるさと瀬戸市まで訪問しようということになり、機会に恵まれ十月三日から六日まで三泊四日、佐々町商工会青年部の代表六名と他二名の計八名で民吉のふるさと瀬戸市を訪ねることができました。

「佐々町と瀬戸市の交流を、民吉翁の偉業を再確認する。特に瀬戸青年会議所とは二月の来町の返礼と共に、若者同志の新しい絆を創る」のが目的でもあり、まず瀬戸市役所を表敬訪問、井上市役所から「佐々町と



瀬戸市 窯神社にて

当市は縁がある、若い層で交流を図っていく事は良い事だ。」と大歓迎を受けた後、窯神社に参拝、続いて瀬戸市民俗資料館、愛知県陶器資料館を見学しました。このあと愛陶工で、ビデオ「加藤民吉に関する」を見ながら、民吉談義、

「四季の舎」で食事をしながらまたもや民吉談義に話しの花が咲き、瀬戸市のJCメンバーと佐々町商工会青年部の共通点を見つけ、また民吉との縁を再確認し合いその日は、夜遅くまで語り合いました。

その中で、JC会員の一人が「民吉なくして、今日の瀬戸はなし、佐々町なくして、磁祖民吉なし。いいかえるならば、佐々町なくして今日の瀬戸の陶磁器はないといって過言ではないでしょうね。」と云われた言葉に町おこしの原点を感じました。

民吉が学んだ事は…。

我々が今、何をしなければならぬのか…と尽きるこ



# 秋季全国火災予防運動

11月26日から12月2日まで  
の一週間「その火、その時、  
すぐ始末！」を統一標語とし  
て秋の全国火災予防運動が行  
なわれます。

今回の重点目標は

- 1、高齢者、身体不自由者等  
を中心とした死傷防止対策  
の徹底。
  - 2、家庭及び地域における防  
火対策の推進。
  - 3、百貨店、旅館、飲食店等  
不特定多数の者が出入りす  
る防火対象物等に係る防火  
安全の確保。
  - 4、防災機器等の普及の推進  
です。
- 火の取り扱いには充分注意し

てください。

なお、期間中消防団では、午  
後九時にサイレンを鳴らしま  
すので、火災とお間違いのな  
いようお知らせします。



秋の全国火災予防運動  
(11月26日～12月2日)

## 老人医療受給者証

### 更新手続きをお忘れなく

昭和63年11月30日で、  
老人医療受給者証の期限  
切れとなる方は、次のと  
おり受給者証の更新手続  
きをしてください。

とき 昭和63年11月20  
日から

ところ 住民福祉課

持参するもの

◎ 現在の老人医療受給者証

◎ 被保険者証

◎ (国民健康保険証  
社会保険証など)

◎ 印鑑

国民健康保険証  
社会保険証など)

## 佐々町保育所合同運動会

10月16日、町内各保育所が、口石小学校で  
合同運動会を開きました。毎日の保育所生活  
で練習した、大鼓、踊りを、お父さん、お母  
さんに元気いっぱい見せてくれました。



## 第二回 ふるさとづくりセミナー

9月26日、午後7時から町公民館で第2回  
ふるさとづくりセミナーが開かれた。第1回  
目に続き、長崎大学から柳田泰典先生をお迎  
えし、佐々の問題点をだし、討議があった。  
「朝市」を開いてはどうか。  
「城ノ辻から連なる山を四季折々楽しんで、  
観光に役立てては…」  
「皿山・佐々川をもっと活用しては…」と話  
しがでて、何はともあれ、やってみなければ  
結果はでないのでは。

## 巡回無料法律相談

十一月十五日(火)

午後一時から午後五時まで

法律の専門家である弁護士  
が直接皆さんのご相談に応じ  
適切な助言をいたします。

もちろん、相談内容は、秘  
密は守られますのでお気軽に  
ご相談ください。

◎場所 町役場会議室

## 広報係から

◎広報無線の故障で、皆さん  
には、大変迷惑をおかけし  
ていることと思います。  
電波障害、雷などで停電、  
近くの広報無線に異常があ  
りましたら担当まで連絡い  
ただければ助かります。

◎広報さぎ掲載の原稿募集

めずらしいこと、身近に話  
題となつていて、こんな  
なことを知りたい、のせて  
もらいたいなど原稿をお寄  
せください。

皆さんのページを作りたい  
と考えています。

原稿用紙(13字×20行)と  
写真をつけてくだされば幸  
いです。

問い合わせは、企画室、須藤  
まで、内線25番へ。  
お待ちしております。



## マナーを守って

### きれいな町づくりを

今年四月から、コンテナゴミ収集が週三回収されるようになり、町内も大変きれいになりました。しかし、一部の地域のコンテナ周辺が、みぐるしいゴミの山となっているところがあります。

また、バス停、公園など、公共の場所に設置しているアキカン入れの網カゴに、家庭から持ちこまれたとみられる生ゴミや、アキカンが入れてあり、ポランテアとして協力していただいている方に大変迷惑をかけております。

ゴミは、日常生活のあらゆるところからでてきますが、お互いにマナーを守って、きれいな住みよい町づくり、環境づくりにご協力下さいますようお願いいたします。



## 健康づくりのために

年をとれば誰でも体の器官がにぶり、何らかの不調を覚えるようになります。

高血圧、動脈硬化、心臓病、肝臓病、糖尿病そしてがん

ど、成人病といわれる病気が多く起こるのも中年の頃からです。

今回は、糖尿病について考えてみましょう。

## 糖尿病を侮るな

●全国糖尿病週間／十一月七日〜十三日●

糖尿病は、すでに古代エジプト時代に「多尿」を特徴とする病気として知られていました。その原因が何であるか分らない時代が長く、「死の病」として恐れられてきました。しかし、一九二一年にカナダのトロントに住む青年医師パングと医学生ベストが「インスリン」を発見し、人類に光明をもたらしたのです。

### 日常生活を振り返り

#### 健康チェックを

糖尿病は、インスリンの発見によって進行に歯止めをかけることも可能になりました。さらに現在では、食事療法や運動療法により、糖尿病は治療することができるようになりました。しかし、患者数は年々増える一方で、現在、わが国では二百万人とも二百五十万人ともいわれています。

このような背景には、栄養過多や運動不足、肥満、不規則な

生活やストレスなどがあると指摘されます。

糖尿病で一番怖いのは、病気を放置して進行した場合の合併症です。腎不全や失明、心臓病や脳血管障害、神経障害や足の壊疽などがあり、死に至ることも少なくありません。

そこで、もう一度日常生活を振り返って、健康チェックをしてみよう。糖尿病の特徴である空腹感やだるさ、口の渇き、多飲・多尿などの自覚症状はありませんか。

糖尿病はあなたの生活をおびやかすだけでなく、最悪の場合には、命を奪うことにもなります。日ごろから、地域や職場での検診をすんで受けましょう。また「おかしいな」と感じたら、直ちに病院へ行き、診察を受けるようにしてください。





### 第四回長崎県

### 民俗芸能大会

—ふるさと競演—

日時 昭和六十三年十一月二十日(日)午後一時開演

場所 諫早文化会館

入場料 無料

出場種目 壱岐神楽(壱岐郡)

大村の寿古踊(大村市)

生月勇魚捕唄(生月町)

小ヶ倉獅子舞(長崎市)

野々川浮立(波佐見町)

加津佐棒踊り(加津佐町)

西長田浮立(諫早市)

問い合わせ先

長崎県教育庁文化課

0958-24-1111

## 海技免状引き換えについて

(四級小型船舶操縦士)

船舶職員法が改正され5年ごとの海技免状の更新制度がスタートしました。これに伴い様式が変更されたため、更新する前にまず引き替えを行うことになっています。

免状をお持ちの方は指定された期間内に引き替えを行ってください。

※引き替え申請時必要なもの

○海技免状引き換え申請書

○海技免状用写真票

○写真一枚(3cm×3cm)

※6ヶ月以内撮影のもの

○海技免状

○印鑑

〔更新に関する問合せ先〕

佐世保市千尽町4-1

九州運輸局佐世保海運支局

船員課

電話31-6167

## チェーンソー取扱講習会

期日 11月16日～17日

場所 佐世保市農協佐々支所

詳しくは北松森林組合(63-2305)へお問合せ下さい。

なお、椎茸原木、種駒、県産材団地事業等の取扱いをしております。

お気軽にご相談下さい。

## 住宅金融公庫の融資のご案内

◎昭和六十三年度の第三回個人向け住宅(新築・購入)融資の募集を六十年十月十七日(月)から十二月九日(金)まで行っています。

◎「高規格住宅割増融資(百五十万円)」がご利用できます。詳しいことは、住宅金融公

庫福岡支店(五二一七三三)または、住宅金融公庫業務取扱店と表示された金融機関へお尋ね下さい。

旧免状の交付を受けた日	引き換え期間
昭和49年5月26日から 昭和50年12月31日まで	昭和63年4月1日から 昭和64年3月31日まで
昭和51年1月1日から 昭和51年9月30日まで	昭和64年4月1日から 昭和65年3月31日まで
昭和51年10月1日から 昭和52年9月30日まで	昭和65年4月1日から 昭和66年3月31日まで
昭和52年10月1日から 昭和55年3月31日まで	昭和66年4月1日から 昭和67年3月31日まで
昭和55年4月1日から 昭和58年4月29日まで	昭和67年4月1日から 昭和68年3月31日まで

■パートタイム労働旬間■ 11月1日～10日

## パートもリフレッシュ

確かめよう、  
パートの年次有給休暇



■教育・文化週間■ 11月1日～7日

親子で考えよう!

教育とは  
文化とは





# スポーツ大会結果

## 町内会対抗ソフトボール大会

昭和六十三年度町内会対抗ソフトボール大会が十月十六日(日)佐々中グラウンド、北松南高校グラウンドの二会場でAクラス、Bクラスに別れ熱戦健闘されました。

成績は次のとおり

Aクラス(13チーム)

- 優勝 市瀬町内会
- 準優勝 里 町内会
- 三位 野寄町内会
- 三位 芳浦町内会
- Bクラス(12チーム)
- 優勝 松瀬町内会
- 準優勝 若佐町内会
- 三位 里山町内会
- 三位 古川町内会



Aクラス優勝の市瀬町内会チーム

## 第十一回町内バレーボール大会

### 二十一チームが参加激戦

優勝 Aクラス 末岡鋳業  
 Bクラス 里ライオンズ

今年(九月二十五日)勤労青少年ホーム、町体協バレー部の共催で町民体育館と佐々中体育館を会場に熱戦が展開されました。

◎Aクラス 優勝 末岡鋳業

◎Aクラス



- 準優勝 ファイターズ
- 三位 里山町内会
- 四位以下チーム名
- 栗林町内会A
- ◎Bクラス
- 優勝 里ライオンズ
- 準優勝 友心会
- 三位 芳ノ浦町内会
- 四位以下チーム名
- 四ツ井樋町内会、木場町内会
- 市瀬町内会、ラブリーズ
- さくらクラブ、ピュアネス
- 若佐町内会、一二クラブ
- 栗林町内会、ガッチャマン
- 堀田クラブ、さざんか町内会

## わしおクラブが優勝

十月十六日、北松浦郡小学生バレーボール大会で、郡内各小学校対抗の熱戦がくり広げられ見事、佐々小学校の「わしおクラブ」が優勝しました。

## 屋外広告物

### 指導旬間

11月21日から30日まで屋外広告指導旬間となっております。屋外広告を掲出する場合は、次の点に十分ご注意ください。

- ◎ガードレール、街路樹、電柱等に掲出してませんか。
- ◎道路上に掲出してませんか。
- ◎広告を屋外に掲出する場合は、県北振興局、建設部管理課へご相談下さい。

## 公営住宅

### 入居者募集

◎受付期間

昭和六十三年十一月一日から十一月二十五日まで

◎入居募集住宅

昭和六十三年十二月一日から六十四年三月三十一日までの空家の補充入居

◎選考方法

収入基準(公営住宅施行令控除後の金額を月割し月割額が十六万二千円以下)に該当し、入居者選考委員会で困窮度に応じて決定します。

◎受付 総務課

## 学校教育嘱託員を専任

佐々町教育委員会では、先に教育相談電話を設置して、こどものいじめや問題行動について、保護者などの相談に応じておりましたが、今回児童生徒の一層の健全育成を願う学校教育嘱託員を専任し、教育相談に応ずることにいたしました。

相談を受けられたい方はどなたでもけっこうです。遠慮なく気軽にご利用ください。相談は直接でも電話でもけっこうです。

担当者 貞松 馨 嘱託員 電話 三十三三三 教育委員会



# なやみごとはお気軽に

## 心配ごと相談所へどうぞ

☎62-2655

(相談は無料・秘密厳守)

♥毎週水曜日 午後1時から  
◎場所 老人福祉センター

12月			11月				相談日	相談員
21日	14日	7日	30日	24日	16日	9日		
松尾幸雄	川村久米吉	福地ヨシミ	内山武次	松尾幸雄	川村久米吉	福地ヨシミ	内山武次	

### ◎老人福祉センターから

◇血压測定 (11月8日)  
※休館日は毎週月曜日と祝祭日です。

支部名	支部長名	連絡先	支部名	支部長名	連絡先
古川	森保	62-2420	角山	辻一衛	63-3428
志方	宮原土夫	63-3538	木場	辻奨	63-2757
中央通	友田ヨシ子	62-2547	口石	藤永康敏	62-2260
里	坂本数衛	62-2715	浜迎	永安薫	63-3047
里山	田代登	63-3477	土手迎	林鶴雄	63-3070
野寄	大畑吾六	63-3472	四ッ井樋	松本一夫	63-3211
栗林	野中力男	63-3455	芳ノ浦	松永茂	62-2381
神田	吉永政義	63-3282	東町	平山大	62-2864
市瀬	松田七郎	63-3358	西町	川村久米吉	62-3540
北	森栄	62-2887	真申	原口光雄	47-4469
松瀬	木寺三郎	62-6286	水道	福田十郎	63-3006
鴨川	矢野栄	62-3830	新町	松川房江	62-2086
江里、大茂	柴山哲夫	63-3517			

◎ご結婚おめでとう  
氏名  
夫 富永 俊輔 町内会  
妻 柴田 恵子 口石  
夫 田川 房生 松瀬  
妻 内野 美津子 沖田  
夫 吉田 芳宏 松瀬  
妻 濱村 美穂子 沖田  
夫 山口 実 沖田  
妻 白濱 京子 市瀬  
夫 白川 辰巳 市瀬  
妻 伊藤 雅美 市瀬  
夫 辻丸 正 志方  
妻 安達 涼子 志方

◎お誕生おめでとう  
父の名 母の名  
続柄 出生児  
大津 忠章 光子 町内会  
二女 直子 中央通  
岡本 和弘 道代 里  
二男 崇嗣 里  
山本 正人 智美 松瀬  
二女 千佳 松瀬  
◎ご冥福を祈ります  
松本 浩 順子 沖田  
長男 浩太郎 芳ノ浦  
鳥羽 和重 幸子 四ッ井樋  
長女 明日香 東町  
田原 孝一 喜美子 東町  
二女 則子 芳ノ浦  
岡本 勝宏 正美 里  
長男 優輝 里  
横田 慎次 君子 里  
二男 学士 里  
前川 義隆 由起子 大茂  
長男 勝利 大茂  
藤永 達夫 和子 木場  
長女 亜弓 栗林  
角銅 剣太 真紀子 角山  
辻 藤志郎 栄子 角山  
長男 剣志郎 角山



## 老人クラブ加入者募集

佐々町老人クラブは町内会ごとに支部が結成され二十五クラブに、千五百名余りの会員が、各種文化、スポーツなどの行事に参加、健康の増進、教養の向上に努めています。

六十歳以上の方ならどなたでも加入出来ますので、各支部長さんまで申し出をされますようお願いいたします。

連絡先は次のとおりです。

氏名  
福田 太一 84歳 町内会  
松瀬 武夫 71歳 芳ノ浦  
宮本 カメ 78歳 栗林  
田中 七郎 82歳 栗林  
安元 キクエ 73歳 新町

内山 イセ 85歳 新町  
福田 松次郎 81歳 土手迎  
村上 吉郎 65歳 東町  
川野 ヨリ子 68歳 市瀬  
(十月十五日まで受付分)



# 社会福祉協議会だより

☎(02)2655

63年11月号

## 会長 バトンタッチ!!

### 新会長あいさつ

清原 恵一郎

前菊本会長さんの後を引き受け、九月二十三日から社会福祉協議会の会長として選任

されました。

最近の厳しい社会情勢のも  
とで、高齢化社会の問題をは  
じめ、障害者・青少年の問  
題など、地域における福祉  
の問題は複雑多岐に渡って  
おります。

本町の福祉向上のために、  
みなさまのご理解とご協力  
をお願いいたします。



『長い間、ありがとうございました。』と  
清原新会長から感謝状贈

### 退任あいさつ

菊本 春夫

社会福祉協議会の発足以来、

会長（理事）として社会福  
祉の推進に微力ながらつと  
めて参りましたが九月二十  
二日の任期をもって退任す  
ることになりました。

皆さま方にはこれまで地  
域福祉の発展に多大のご支  
援ご協力を頂き衷心より厚  
くお礼申し上げます。

最後に皆さまの益々のご健  
勝とご活躍並びに社会福祉協  
議会のご発展を祈念し退任の  
ごあいさついたします。

## 婦人とボランティア活動 その四

### 寡婦会の皆さん 街頭募金運動に大活躍!!



十月から全国一斉にはじま  
った赤い羽根共同募金運動に  
寡婦会六名の皆さんが、佐々  
ショッピングデパート前とま  
つばや佐々店前で、買物され  
る方や道行く人々にご協力を  
呼びかけました。

募金箱に『あなたたかいお心』  
をお寄せいただきました皆さ  
まの善意と寡婦会の皆さんに  
よるご協力に深く感謝いたし、  
紙面をもって厚くお礼申し上  
げます。

### 新しい役員が選 任されました

#### 理事

川村久米吉（西町）・川野多  
喜衛（中央通り）・福田昭憲  
（土手迎）・藤永博輔（口石）  
・西尾円作（中央通り）・西  
牟田静子（市瀬）・広川敏麿  
（古川）・清原恵一郎（会長）

#### 監事

辻勝己（木場）・御厨成宏（里）



## 《寄付のお礼》

### ◎香典返しとして

▽故金子 コスエ様

北 金子 陸夫様

▽故福田 太一様

芳ノ浦 福田 ミエ様

▽故高木 フジ様

木場 高木 ミツエ様

▽故川崎 清熊様

里山 川崎 ユキ様

以上の方々から、香典返し  
として多額のご寄付をいた  
されました。

ご逝去された方々のご冥福  
を謹んでお祈りいたしますと  
ともに、ご遺族様のご厚意に  
心から感謝申し上げます。

### ◎見舞返しとして

神田 山口 薫様

皆さまからの温かいご芳志  
誠に有難うございました。

（十月十五日まで受付分）

社会福祉法人

佐々町社会福祉協議会

会長 清原 恵一郎





絶妙な秋日和  
 絵の具を落したような箱庭  
 の山々を、ゆつくりとながめ  
 る気持ちの余裕と、これから  
 冬に向う心の準備に忙がしく  
 なります。  
 読書週間が  
 十月二十七日から十一月九日  
 までとなっております。

こ、で第十三高等学校の  
 教育内容や、生徒達の生活  
 について触れておきたい。  
 学科は読み書き、そろば  
 んの他に、地理、歴史、漢  
 文、英語、体操、教練等が  
 あり、教師も粒選りを揃え  
 ていたらしい。  
 一五才で明治維新の  
 際に官軍の抜刀隊に加  
 わったと言う勇猛な教  
 師もおり、佐々町老人  
 連合会の初代会長、南部重  
 遠の父南部露庵は、平戸藩  
 内では有数の漢学者であつ  
 たと言う。  
 ある夏、何の用事があつ  
 たのか知らないが、一人の  
 イギリス人が口石を通りか  
 かり、水を貰って飲みたい

本の大切さを知るのもいい事  
 だと思えます。

秋が深くなるにつれ、物悲  
 しくなる時、充実した本こそ  
 心の支えになってくれそうに  
 思います。

読書する人が多くなつてき  
 ました。はじめて図書室にお  
 いでになる人も歓迎します。  
 多くの本を読まれますよう  
 に、そんな本をたくさん、取  
 揃えるつもりです。  
 県図書の方も入れ替えまし  
 たので、一緒にご覧下さい。

新刊案内

- 状況曲線上・下 松本 清張
- 噂の王子 永井 路子
- 花の埋み 渡辺 淳一
- 賞金犬 西村 寿行
- 般若心経 瀬戸内寂聴
- 尋ね人の時間 新井 満
- ファースト・レディ上・下 遠藤 周作
- 華の乱 永畑 道子
- 女たちの百万石 橋田壽賀子
- 推定無罪上・下 スコット・トロー
- アグネスの宝・宝 仁藤 泰子
- 竜馬がゆく第一巻第五 司馬遼太郎
- 静かな町の夕暮に 赤川 次郎

随筆郷土誌 (165)

宮原 九一郎  
 佐々町の教育史(その二)

と書いたが言葉が通じない。  
 高等小学へ行つて「ウォータ  
 ー」と言つたところ一人の生  
 徒が、すぐ合点して冷たい水  
 汲んでやり、大変喜ばれたと  
 言う話も伝えられている。  
 寄宿舎にいる生徒は、毎週  
 土曜の午後は家に帰り、日曜  
 の夕方までには、一週間分の  
 米を持つて寄宿舎へ帰つた。  
 当時は交通機関は何一つな  
 く、道も旧県道がやっと開通  
 したばかりで、現在の小学校  
 五・六年生に当る子供が、重  
 い米を持つて遠い所から歩い  
 て来るのは、さぞ辛かつたで  
 あろうと思う。  
 米は各自に保管していて、  
 一食毎に一定の容器で計つ  
 て炊事の人に渡していたと  
 以前老人から聞いたことが  
 ある。  
 年は少なくて、彼等に  
 は当地に於ける最高学府の  
 生徒であると言う、誇  
 りと自覚があつたらし  
 い。夕食後はいろんな  
 課題で討論に夜を更か  
 したり、恐い話や淋しい話  
 を散々聞かせた上で、一人  
 で近くの墓場に行かせ、何  
 か証拠の品を墓から持つて  
 来らせる、いわゆる試胆会  
 をやつたりして、堅実な寄  
 宿舎生活を楽しんでた。

山のお地ぞうさん

和尚作

裏のお山の お地ぞうさんに  
 おだんご一つ おそなえしたら  
 うれしいそうなお顔をしたら  
 裏のお山の お地ぞうさんに  
 赤い前だれ 作つてあげた  
 はづかしそうな お顔をしてた  
 裏のお山の お地ぞうさんに  
 姉の嫁入り お話したら  
 さびしいそうなお顔をしてた

短歌

田中てい

一、亡き母の 好物なりし 柿や栗  
 店頭に出て 秋更けてゆく  
 一、ただいまと 言えど答える 人もなく  
 ひとり暮しの 秋の夕暮れ

さざ川柳会

十月例会から  
 題「酒」「胸」

放談も誰はばからぬ酒の友  
 大虎も一夜明ければ猫となり  
 禁酒した男の影が薄くなり  
 酒というものでどちらの顔も立て  
 不平なら明日もあるぞ梯子酒  
 青春に別れを告げる独り酒  
 精一杯汗して足りるコップ酒  
 添え書きの一言胸が熱くなり  
 胸の内子には見せない母の笑み  
 金メダル胸に巨体の男泣き  
 胸貸した相手がさらう金メダル  
 ラブレター胸の想いを書き足らず  
 言い負けた言葉が胸に渦を巻く  
 勝算は胸に秘めてた日の誤算

西川 桂流  
 辻 智佐恵  
 宮原 九一郎  
 松川 房江  
 松永 京子  
 福島 末太郎  
 大徳屋 末太郎  
 赤木 マチ子  
 南 いくよ  
 永吉 順一  
 井上 順一  
 福地 よしみ  
 松本 静枝  
 出端 九一



# 最優秀に

古賀さん(佐々町)  
吉永さん(口石小)

## 佐々町少年の主張発表大会 小・中学生が堂々と主張



九月二十四日、

佐々町文化会館で、第一回佐々町少年の主張発表大会が、教育委員会と少年健全育成会の共催で開かれました。その結果、最優秀に口石小六年の吉永幹代さんと、佐々町二年の古賀弓美子さんが輝きました。

内容は、「郷土のために、

当日は、寄せられた作文二〇八通の中から、小学生四、中学生六の合計十編を選び発表しました。

内容は、「郷土のために、やりたいこと」、「自分が身近に感じたこと」などが多く、どの発表者も堂々と意見を述べ、会場一杯に大きな感動を与えました。

第一回佐々町少年の主張発表大会のアトラクションに、友情出演された県立北松南高等学校の「独唱」、「ピアノ独奏」や、佐々町少年少女合唱団と佐々町中学校音楽部の、コーラス出演は本大会を一層盛り上げてくれた。

なお、この大会の発表文をB4版二〇ページにまとめています。閲覧希望の方は、佐々町公民館へ申し出てくださ

# 最優秀の

## 発表から

古賀さんは「命」というテーマで主張されましたが、自分分は毎日の生活に流され、自分のことだけを考えてきた気がする。生きるといふことは闘うことではないだろうか。あつさり自殺してしまう人がいるけれど、高齢の祖父母を見てみると、そんなものではないと叫びたい。

又、戦争の話などは、もう過ぎたことだ関係ないと言う人もいるけれど、二度と大勢の人の命を失なわないために

も戦争はしてほしくない。戦争の中で流された父や母や子供の涙を知ることが大切だなど、戦争による傷つきあいはしてほしくない。

又、戦争や、病気や、事故など命を失うことはいろいろあるけれど、今のこの時を大切にしたいという発表に聴衆の涙をさそうなど、心打たれる思いでした。

吉永さんの発表は「ボランティア活動に参加して」という題です。

長崎県内の小中学校、高等学校の人達と、三泊四日の宿泊を共にして、身寄りのないご老人や身体障害者のお世話

を実際に行ながら、ボランティア活動というリーダーワークキャンプ(小浜町)で、いろいろなる事を体験したことに

ボランティアの学習活動を通して困っている人の助けをしようという気持ちで、自分自身、人の痛みがわかりだれとでも心がかよい合える人間にならなければならぬ。

そのためには、まず身近な所から、はずかしがらず勇気を持って出来るように心がけていきたいと思っている。という内容で聴衆者に深い感銘を与えました。

十月三日、佐々町公民館で「佐々町生活学校」主催の町内食料品店との対話集会を開いた。

この日は、主体メンバー二十二名、補助メンバー五名、専門メンバー十名により

運営委員長(小森ツルヨさん)の趣旨説明のあと、小岸チズ子さんの司会で量、質、味、衛生、サービスの

## 食料品店との対話集会

佐々町生活学校

問題点について、商店、消費者双方の言い分を出し合い事情を理解すべきこと、店として改善すべきことなど、腹藏なく対話を交しましたが、製例が徹底しないなど、町内食料品店では対応できぬ面が多々あるという言葉も聞かれた。

を出し合いましたが、今回たいへん有意義な会であったと、商工会関係者、商店主、参加者らに好評を得ました。





税を知る週間  
(11月11日～17日)

役場のでんわは  
☎2101です

# 11月のお知らせ



119番の日  
(11月9日)

## 健康テレホンサービス

佐世保 (0956)

# 23-4300

◇11がつのテーマ◇

- 月 むくみ(浮腫)
- 火 椎間板ヘルニア
- 水 小児の脱水症
- 木 耳鳴りについて
- 金 歯みがき パート2
- 土・日 初潮をみたら

## 休日在宅当番医日程表 午前9時から午後5時まで

3	祭	徳王医院	小佐々町	68-2120
6	日	田中医院	〃	69-2521
13	日	中央松瀬医院	吉井町	64-2105
20	日	福井診療所	〃	64-2112
23	祭	松瀬医院	〃	64-3225
27	日	志方医院	〃	64-2015
24	日	松浦病院	世知原町	76-2201

## 妊婦相談(学級)

- とき 11月10日(木)
- 受付時間 13時30分～14時
- 妊婦学級 14時～15時30分
- 妊娠中の栄養調理実習
- ※エプロンを持参して下さい。
- ◎同時に母子健康手帳交付
- 今回は、12月8日(木)です。

## 3歳児検診

- とき 11月18日(金)
- 受付時間 午前9時～9時30分
- 対象児 昭和60年2月21日～5月10日生
- (詳しくは個人通知致します。)

## 予防接種

- 小児マヒ生ワク(ポリオ)
- とき 11月16日(水)
- 対象児 生後3ヶ月～1才半児
- ※必ず2回投与すること
- 実施時間 14時～15時まで
- インフルエンザ
- とき 1回目 12月2日(金)
- 2回目 12月9日(金)
- (必ず2回受けること)
- 対象 満3才以上の集団生活児(幼稚園・保育所・学校通学児)
- 実施時間 15時30分～16時30分

## 乳児相談

- とき 11月10日(木)
- 対象児 生後9～12ヶ月児
- とき 11月17日(木)
- 対象児 生後5～8ヶ月児
- とき 11月24日(木)
- 対象児 生後1～4ヶ月児
- ※生後5ヶ月児には尿検査用紙を渡します。
- 以上実施時間はいづれも
- 午前9時30分～12時まで

## 1歳6ヶ月児検診

- とき 11月18日(金)
- 受付時間 午後1時～1時30分
- 対象児 昭和62年3月1日～4月30日生
- (詳しくは個人通知致します。)

以上 実施場所

佐々町健康センター

## 心をつなぐみんなの広場

# 公民館 だより



つどいと教室——● (62-2128)

- 1日} 成人大学 19:00～
- 15日}
- 11日 明生大学(移動学習)波佐見町 9:00～
- 14日 家庭教育学級「21世紀に生きる女性」9:30～
- 15日 婦人学級「働く人の健康管理 No.1」13:30～
- 19日 親子ふれあい教室 14:00～
- 26日 親子ふれあい教室(施設訪問) 13:30～

※11月5日・6日に予定していた町民文化祭は都合により中止することになりました。